

大阪女学院中学校・高等学校 2022 年度学校関係者評価

【日時・場所】

2022 年 10 月 23 日(月)午後 2 時 30～4 時 30 分

場所：高校校舎応接 B

【学校関係者評価委員会】（敬称略）

へール会（PTA）会長：石東岳士

へール会（PTA）副会長：吉川かずみ（欠席）

へール会（PTA）副会長：井上真穂里

同窓会会長：児島若菜

同窓会副会長：崔裕子

学識経験者：有澤慎一（日本キリスト教団 五月山教会牧師）

【陪席】

校長：丹羽朗（出張につき欠席）

副校長：山崎哲嗣

高等学校教頭：関口淳

中学校教頭：上山史郎

【議事進行】

1. 議長選出

合議により有澤慎一氏を議長に選出

2. 議事進行

事前に共有した「大阪女学院中学校・高等学校 2022 年度自己評価」をもとに各事業項目について質疑応答、各委員の意見交換を行う。

【記録】

A 財政と基本的な資源

トイレ

- Q 新しくなったのか？
A 北校舎は更新した。

空調

- Q 高校生の評価が低いのはなぜか？
A 空調のスポットにムラがある。
A (保護者) 衣服で調整をしている生徒もいれば、していない生徒もいる。

感染症対策

- Q その後の対策はどのようにしているか？
A 5類移行の通達に則って行っている。
Q 生徒たちはどれくらいマスクを着用しているか？
A 正確な割合は不明だが、5月以降マスクを外している生徒は多い。いっぽうで着用をしている生徒は固定化している。
Q 人間関係の構築に影響はあるか？
A 教員の視点では、マスク着用で生徒の顔を覚えるのが困難だった。今はそうでもない。
Q (保護者) 生徒同士は2020年でも、食事の時は素顔が分かるので互いの顔を認識していたようだ。

建学の精神、キリスト教の精神

- Q どの程度定着しているのか？
A (保護者) 礼拝は不要という生徒もいるみたいだが、様々な学びにつながると高学年や卒業生は言っている。
Q 礼拝出席は必須か？
A 強制はしていない。コロナ禍では強く推奨できなかった。
Q (同窓会) むかしは「伝道週間」後に必ず出席するように促されていたが、いまはどうか？
A 今は推奨しているが強制はしない。
A (有識者) 他のミッションスクールの例だが、最近では旧・統一教会のイメージで敬遠する保護者もいる。

B 組織内要因-1 生徒支援

カリキュラム

- Q 実際の取り組みはどうか？
A (保護者) 様々な課外活動が再開して、少し忙しくなって疲れている生徒もいる。
A (保護者) 理系コースの保護者の間では、数学などやや不十分な感想もある。
Q 通塾状況はどうか？
A (保護者) 塾に通っていて疲れている生徒もいる。

学習支援

- Q 補習はどのようにしているか？
A 中学生には学内外のファシリテーターの指名補習、進学が決まった高校3年生による
Q 高校入学生の補習はどうか？
A 内部進学生が先行実施してる教科・単元について土曜日に行っている。以前より先行実施分は少なくなった。

行事、課外活動

- Q 行事に対して生徒が高評価な理由は何か？
A 以前より体育大会など生徒による運営・参加の行事はやりがいがあると評価されている。
Q 体育大会は2022年度の熱中症事件を受け、2023年度は学外の屋内施設で行ったが、評価は？
A 屋内施設で行ったことで、当日の体調管理はやりやすかった。
Q 生徒会中心に行事の一つであるが、今年の運営はどうだったか？

A 施設変更によるプログラム変更など、生徒会中心に合宿、会議を重ねて行った。

Q はじめての施設だったからか、競技進行がやや間延びしていたが。

A 次年度は改善できると思う。

ICTの活用

Q ICTの授業での活用の実態はどうか？

A (実際の授業での事例を共有し) 課題の設定、提出方法、資料の共有など科目によっては大幅に改定した。

図書館利用

Q 中学生の利用率はなぜ高いのか？

A 現在カリキュラムを変更し、中学の総合学習でAcademic Writingの学びなど授業での図書館利用が増えているので。

言語教育

Q 英語の授業以外のプログラムにはどのようなものがあるのか？

A 中学の放課後国際クラス、IELTSの対策クラス、韓国語クラスなど、中国語クラスなどオプションがある。

海外研修

Q 現在の参加状況は？

A 夏期短期研修は費用高騰のため以前と比較して参加者が少ない。逆にセメスター留学(1年生の3学期間など)の希望者は増えている。

海外進路

Q 中学生の評価が高い理由は？

A 中学入学生・保護者の関心が高いこと、海外進路部門による様々なイベントへの参加が多いことが理由である。

性の課題

Q 現在、大阪女学院ではLGBTQについてどのように扱っているか。

A 解放(人権)教育の一環でコンテンツを扱い、学んでいる。

Q 女子校では扱いが難しいこともあるか？

A 成長段階における性の意識、互いの人間関係の変化など、学齢で過渡期がある。

Q かなり早い段階から制服にパンツのオプションを用意していたが、そのような理由か？

A 今から20年近く前に、そのような意識を持つ生徒がいたのがきっかけである。

人権教育

Q 人権教育も評価が高いが、人権意識とプログラムの相関性はあるか？

A どのコンテンツが有効であったかはリンクしにくいですが、多様な分野の学びがある。

Q 学びに対する意識は高い。一步踏み込んだアクションは行っているか？

A 2022年度まで感染症対策のため、外部の施設訪問やフィールドワークが困難だったので少なくなっている。

自立支援

Q 中学生と比較して、高校生の支援不足の感想はなぜ多いのか？

A いくつかの要因が考えられる。高校入学生の本校へのアジャストが以前より難しくなっていること。教員が多忙なため、生徒がアクセスしにくくなっていることなどが理由として推測される。

Q ハラスメントの対応(生徒、教員対象)はどのように行っているのか？

A 生徒へは学期に1回の全体リサーチと、常時相談窓口を知らせており件数も増えた。教職員へは定期的な研修を行っているが、今後も強化しなければならないと感じている。

Q 不登校のケースは増加しているのか？

A 現在明確な生徒で、サポートルーム登校・利用認定者が約50人。その他、まったく登校できない生徒、不登校傾向の生徒も含めると増加している。疾病など明確な理由がなく欠席が5日間連続した場合は、要確認・観察の対象。

挨拶

Q 生徒の回答は意識が高いが、実態はどうか？

A 以前より挨拶の頻度は増えたが、学外からの来校者への挨拶はどうだろうか。安全のためにも推奨したい。

A (同窓会)挨拶は増えたが、生徒からではなく、こちらが声をかけると返答するケースが多い。無視はしない。

A (同窓会)むしろ教員で挨拶をしない教員が幾人かいて、目立つ。

進路

Q 大阪女学院大学への進学状況は？

A 単科大学なのでそう多くはない。今年度は高大連携を強化し、内部生用の入試追加。受験者は増えた。

C 組織内要因-2 スタッフ支援

労働環境について

Q 生徒・保護者の視点では面談や相談などの評価は8割を超えているが、実際はどうか？

A 現在の研修日制度では週6日のうち5日出勤なので、毎日アクセスできるわけではない。

Q 前項の「挨拶しない教員」の特徴として、いっぱいいっぱい表情に余裕がなくこちらの声が聞こえていないように見受けられる。特に若い教員にそのような状態が多いが大丈夫か？

A 働きかた改革も含め、制度改正、その他業務のリストラなど喫緊の課題だと思っている。

A 学内の業務以外にも、所轄官庁からの調査や情報公開など必要ではあるが、以前と業務量は増えている。

A (保護者) この時代に教員を目指して就職した若い人が、仕事を継続できるように支援してもらいたい。

A 子育て世代の支援も含め、計画中である。

D 組織外への働き

奨学金制度

Q 奨学金の項目・名称について。特定原資は同窓会の資金も含まれるが明示されていない。

A 学校法人に伝えておく。

独自の資金調達

Q 今後どのような策があるか？

A ブランディングに一貫で公式ノベルティの充実、直接寄付金や府議会で審議される「ふるさと納税」の活用など。

E 総評

Q 総評は生徒・保護者ともに学校への愛着や帰属意識が9割超と高いが、どのように受けとめるか？

A ありがたいことである。と同時に、様々な指摘を鑑みながらアップデートし、これからも同窓生の帰属意識、コアファンやリピーターが増加するよう努力する。

1. 【調査概要】

(1) 調査方法・調査対象、評価方法

- Web アンケート (Google フォーム) による無記名回答
 - 中学校生徒 2022年12月実施 回答 (446 / 489)
 - 高等学校生徒 2022年12月実施 回答 (754 / 839)
 - 保護者 2022年12月実施 回答 (620 / 1340)
 - 専任教職員 2023年2月実施 回答 (35 / 70)
- 調査回答結果をもとに、各質問に関連する主な Positive、Negative 評価を抽出し、今後の改善点を挙げる。

(2) 調査項目と 2022 年度重点課題

項目	要素①	要素②	要素③	要素④
A 財政と基本的な資源	1. 財政 (1) 健全な収支 (2) 修繕積立金 (3) 寄付、その他	2. インフラ (1) 建築物 (2) ICT インフラ (3) 生活インフラ	3. 安全保障 (1) 危機管理 (2) 災害対策 (3) 基金と奨学金	4. 遺産 (1) 建学の精神 (2) 文化と校風 (3) 資料と文化財
B 組織内要因-1 生徒支援	1. カリキュラム (1) 教科教育 (2) 行事 (3) 課外活動	2. 国際理解教育 (1) 言語教育 (2) 国際教育 (3) 海外進路	3. 人権教育 (1) 女子教育 (2) 人権学習 (3) 平和学習	4. 自立支援 (1) 支援教育 (2) 生活指導 (3) 進路指導
C 組織内要因-2 スタッフ支援	1. 労働環境 (1) 待遇 (2) 健康管理 (3) 福利厚生	2. キャリア支援 (1) キャリアプラン (2) 研修制度 (3) 資格取得支援	3. チーム形成 (1) 有機的なチーム (2) Servant Leader (3) 外部資源の活用	4. システム (1) 教育業務支援 (2) 経理業務支援 (3) 管理業務支援
D 組織外への働き	1. 広報 (1) 受験生向け (2) 塾向け (3) メディア向け	2. 保護者支援 (1) PTA 活動 (2) 就学支援 (3) 保護者支援	3. 同窓会 (1) ネットワーク (2) 共同事業 (3) 生徒支援	4. 社会貢献 (1) 地域貢献 (2) 施設支援 (3) 国際貢献

A 財政と基本的な資源

- 少子化加速を踏まえた「**財政健全化のための3つの重点検討課題**」。
- 情報危機管理および大規模震災対策**におけるインフラ、システム、組織の整備。
- 建築物を含めたインフラの耐用年数設定と**リノベーションまたは新規建築計画策定**。

B 組織内要因-1 生徒支援

- 新しいカリキュラムに基づく**シラバスの構築と実践、および生徒の視野の拡大とマインドセット**。
- 生徒の多様化に応じた**アダプティブ (個別適応) な支援** (学習、支援教育、キャリア)。
- 「**真に自立・自律した女性**」の素地をつくるトレーニング。

C 組織内要因-2 スタッフ支援

- スタッフの心身の健康増進および維持管理**。
- 有機的なチームの形成促進**のためのキャリア支援およびコミュニケーション構築の機会設定。
- 「働きかた改革」およびコスト削減と連動する**業務支援システムの早期構築**。

D 組織外への働き

- 広報活動のエリア拡大およびコンテンツの充実**。2026年までに人口比+20%を目指す。
1. とも連動した、**同窓生および保護者との連携による教育活動の拡充**。
- 社会、とりわけ**地域貢献の新規事業開発**。

2. 【自己評価・分析・課題と改善】

各項目・要素別の評価を分析し、改善点を提言する。

巻末にエビデンスとして内部評価（自己評価アンケート）集約結果を示す。

※なお教員用アンケートが2020年度のまま配信し、事業計画項目とリンクしていないので、分析資料から除外した。

A 財政と基本的な資源

主な Positive ポイント：①施設（中高生、保護者） ②ICT 支援 ③衛生・保健
③建学の精神と礼拝による涵養（全対象）

主な Negative ポイント：①トイレ（高校生） ③空調（高校生）

改善点：①教育活動充実のための施設拡充、高校のトイレ改修（東校舎）、高校の空調の改善（室内温度のムラ）

②建学の精神とキリスト教教育の重要性は全校的に評価されており、引き続き現代の文脈の中で具体的な行動や生き方に結び付く遺産（legacy）継承に努める。

B 組織内要因-1 生徒支援

主な Positive ポイント：①行事（中高生） ②探究活動の ICT 利用（中高生） ③図書館利用（中学生）
④言語教育（全対象） ⑤国際理解教育（全対象）
⑥人権教育全般（全対象） ⑦生活指導（中高生、保護者）
⑧進路指導（中学生、保護者） ⑨コミュニケーション（中高生）

主な Negative ポイント：①学習支援（全対象） ②図書館利用（高校生） 海外進路サポート（高校生、保護者）

改善点：①行事への関心・満足度は依然高い。今後も生徒主体の活動がいかに関係発展するか、教員のファシリテーターとしてのスキルが求められる。

②英語を中心とした言語教育とその基盤である国際理解教育は本校の生命線であるが、中学生と比較して高校生の満足度が10ポイントほど低い。高校英語科は改革を図る時期に差しかかっている。

③図書館利用は中学生のポイントが高く授業内でのラーニングコモンの利用や課題が要因であろう。高校生は一部のクラス（IB など）をのぞき利用率が低く、情報収集や探求のツールとしてネットアクセスの割合が多いと推測される。また今後はAiの利用における学問的誠実性（Academic Honesty）の遵守が課題である。

④進路指導・支援に関する Positive ポイントは中学生が高校生を上回って入り、将来に向けて広い視野を持つことやマインドセットの効果が出ている。海外進路についても中学生のポイントが前年度より10ポイント近く高いのはそうした理由であろう。いっぽう高校生のポイントを高めるには、多様な進路選択（入試制度）に対する個別最適化が急務である。

C 組織内要因-2 スタッフ支援

主な Positive ポイント：①クラブ活動（中高生） ②チームによる生徒・保護者支援（中高生、保護者）

改善点：①教員の週5日勤務に伴うクラス形成の相互サポートに対する生徒・保護者の評価はおおむね高い。今後さらなる「働きかた改革」を進めるにあたり、生徒・保護者の理解を求めつつ、業務軽減システムやクラブ顧問の支援、教職員間のコミュニティ形成、Servant leadership マインドの形成が急務である。

D 組織外への働き

主な Positive ポイント：①入試情報提供 ②PTA 活動 ③奨学金支援 ③制服・ノベルティ ④地域社会貢献活動
(いずれも保護者)

改善点：①入試広報による情報提供とマッチング、独自のファンドによる奨学金制度など評価されている。

②今後、地域連携・貢献など今後も保護者と連携・協働する分野の拡充は本学の本質に関わる事業である。

E 総評

主な Positive ポイント：中高生・保護者の評価はいずれも90数%を超える。

改善点：①私立学校において帰属意識・母校への誇りを生徒・保護者が持てることは重要課題である。在籍生徒に占める姉妹および卒業生の子弟の割合が多いことは一定の評価を得ていると分析する。いっぽうで現在の事業評価を分析し、本校の普遍的な価値観を保ちつつ、未来志向の施策を継続的に開発し、賛同してくれる層の増加を目指す。

1. 【調査概要】

(1) 調査方法・調査対象、評価方法

- Web アンケート (Google フォーム) による無記名回答
 - 中学校生徒 2022年12月実施 回答 (446 / 489)
 - 高等学校生徒 2022年12月実施 回答 (754 / 839)
 - 保護者 2022年12月実施 回答 (620 / 1340)
 - 専任教職員 2023年2月実施 回答 (35 / 70)
- 調査回答結果をもとに、各質問に関連する主な Positive、Negative 評価を抽出し、今後の改善点を挙げる。

(2) 調査項目と 2022 年度重点課題

項目	要素①	要素②	要素③	要素④
A 財政と基本的な資源	1. 財政 (1) 健全な収支 (2) 修繕積立金 (3) 寄付、その他	2. インフラ (1) 建築物 (2) ICT インフラ (3) 生活インフラ	3. 安全保障 (1) 危機管理 (2) 災害対策 (3) 基金と奨学金	4. 遺産 (1) 建学の精神 (2) 文化と校風 (3) 資料と文化財
B 組織内要因-1 生徒支援	1. カリキュラム (1) 教科教育 (2) 行事 (3) 課外活動	2. 国際理解教育 (1) 言語教育 (2) 国際教育 (3) 海外進路	3. 人権教育 (1) 女子教育 (2) 人権学習 (3) 平和学習	4. 自立支援 (1) 支援教育 (2) 生活指導 (3) 進路指導
C 組織内要因-2 スタッフ支援	1. 労働環境 (1) 待遇 (2) 健康管理 (3) 福利厚生	2. キャリア支援 (1) キャリアプラン (2) 研修制度 (3) 資格取得支援	3. チーム形成 (1) 有機的なチーム (2) Servant Leader (3) 外部資源の活用	4. システム (1) 教育業務支援 (2) 経理業務支援 (3) 管理業務支援
D 組織外への働き	1. 広報 (1) 受験生向け (2) 塾向け (3) メディア向け	2. 保護者支援 (1) PTA 活動 (2) 就学支援 (3) 保護者支援	3. 同窓会 (1) ネットワーク (2) 共同事業 (3) 生徒支援	4. 社会貢献 (1) 地域貢献 (2) 施設支援 (3) 国際貢献

A 財政と基本的な資源

- 少子化加速を踏まえた「**財政健全化のための3つの重点検討課題**」。
- 情報危機管理および大規模震災対策**におけるインフラ、システム、組織の整備。
- 建築物を含めたインフラの耐用年数設定と**リノベーションまたは新規建築計画策定**。

B 組織内要因-1 生徒支援

- 新しいカリキュラムに基づく**シラバスの構築と実践、および生徒の視野の拡大とマインドセット**。
- 生徒の多様化に応じた**アダプティブ (個別適応) な支援** (学習、支援教育、キャリア)。
- 「**真に自立・自律した女性**」の**素地**をつくるトレーニング。

C 組織内要因-2 スタッフ支援

- スタッフの心身の健康増進および維持管理**。
- 有機的なチームの形成促進**のためのキャリア支援およびコミュニケーション構築の機会設定。
- 「働きかた改革」およびコスト削減と連動する**業務支援システムの早期構築**。

D 組織外への働き

- 広報活動のエリア拡大およびコンテンツの充実**。2026年までに人口比+20%を目指す。
1. とも連動した、**同窓生および保護者との連携による教育活動の拡充**。
- 社会、とりわけ**地域貢献の新規事業開発**。

2. 【自己評価・分析・課題と改善】

各項目・要素別の評価を分析し、改善点を提言する。

巻末にエビデンスとして内部評価（自己評価アンケート）集約結果を示す。

※なお、教員用アンケート項目が旧年度（2020）のままであったので、参考資料として示す。

A 財政と基本的な資源

主な Positive ポイント：①施設（中高生、保護者） ②ICT 支援 ③衛生・保健
③建学の精神と礼拝による涵養（全対象）

主な Negative ポイント：①トイレ（高校生） ③空調（高校生）

改善点：教育活動充実のための施設拡充、高校のトイレ改修（東校舎）、高校の空調の改善（室内温度のムラ）
建学の精神とキリスト教教育の重要性は全校的に評価されており、引き続き現代の文脈の中で具体的な行動やし
き方に結び付く遺産（legacy）継承に努める。

B 組織内要因-1 生徒支援

主な Positive ポイント：①行事（中高生） ②探究活動の ICT 利用（中高生） ③図書館利用（中学生）
④言語教育（全対象） ⑤国際理解教育（全対象）
⑥人権教育全般（全対象） ⑦生活指導（中高生、保護者）
⑧進路指導（中学生、保護者） ⑨コミュニケーション（中高生）

主な Negative ポイント：①学習支援（全対象） ②図書館利用（高校生） 海外進路サポート（高校生、保護者）

改善点：行事への関心・満足度は依然として高い。今後も生徒主体の活動がいかに発展するか、教員のファシリテーター
としてのスキルが求められる。

英語を中心とした言語教育とその基盤である国際理解教育は本校の生命線であるが、中学生と比較して高校生の
満足度が 10 ポイントほど低い。高校英語科は改革を図る時期に差しかかっている。

図書館利用は中学生のポイントが高く授業内でのラーニングコモンの利用や課題が要因であろう。高校生は一部の
クラス（国際バカロレアコース）をのぞき利用率が低く、情報収集や探求のツールとしてネットアクセスの割
合が多いと推測される。いっぽうで今後 Open Ai の利用における学問的誠実性（Academic Honesty）の遵守が
課題である。

進路指導・支援に関する Positive ポイントは中学生が高校生を上回って入り、将来に向けて広い視野を持つこ
とやマインドセットの効果が出ている。海外進路についても中学生のポイントが前年度より 10 ポイント近く高い
のはそうした理由であろう。いっぽう高校生のポイントを高めるには、多様な進路選択（入試制度）に対する個
別最適化が急務である。

C 組織内要因-2 スタッフ支援

主な Positive ポイント：①クラブ活動（中高生） ②チームによる生徒・保護者支援（中高生、保護者）

改善点：教員の週 5 日勤務に伴うクラス形成の相互サポートに対する生徒・保護者の評価はおおむね高い。今後さらなる
「働きかた改革」を進めるにあたり、生徒・保護者の理解を求めつつ、業務軽減システムやクラブ顧問の支援、
教職員間のコミュニティー形成、Servant leadership マインドの形成が急務である。

D 組織外への働き

主な Positive ポイント：①入試情報提供 ②PTA 活動 ③奨学金支援 ③制服・ノベルティ ④地域社会貢献活動
（いずれも保護者）

改善点：入試広報による情報提供とマッチング、独自のファンドによる奨学金制度など評価されている。
今後、地域連携・貢献など今後も保護者と連携・協働する分野の拡充は本学の本質に関わる事業である。

E 総評

主な Positive ポイント：中高生・保護者の評価はいずれも 90 数%を超える。

改善点：私立学校において帰属意識・母校への誇りを生徒・保護者が持てることは重要課題である。在籍生徒に占める姉
妹および卒業生の子弟の割合が多いことは一定の評価を得ていると分析する。いっぽうで現在の事業評価を分析
し、本校の普遍的な価値観を保ちつつ、未来志向の施策を継続的に開発し、賛同してくれる層の増加を目指す。

項目	要素	質問	回答	中学生	高校生	保護者
A 財政と基本的な資源	2. インフラ (1) 建築物 (2) ICTインフラ (3) 生活インフラ	本校の校舎（教室、実験室、MMルームなど）、 図書館、食堂、その他の施設は充実している と思いますか？ (A-2-1)	思う、やや思う やや思わない、 思わない	93 6	94 5	92 7
		本校の学校ICT（情報通信技術）の活用（Wi-Fi 設備、Chromebookレンタル、メールやGoogleの 運用、ICT支援員、学習のWebサイトの運用、そ の他サポート）は生徒の学習活動や教職員支援 に役立ちましたか？ (A-2-2)	思う、やや思う やや思わない、 思わない	89 11	86 13	83 16
		本校の衛生施設（トイレ、手洗い場など）は機 能を果たしていますか？ (A-2-3)	思う、やや思う やや思わない、 思わない	86 13	78 21	
		本校の空調設備は機能を果たしていますか？ (A- 2-3)	思う、やや思う やや思わない、 思わない	89 10	66 33	
		本校の感染症対策は機能を果たしていますか？ (A-2-3)	思う、やや思う やや思わない、 思わない	87 12	79 20	87 12
		本校の保健活動（保健室、疾病時のサポート、 保健だより）は生徒の健康や安全管理に役立っ ていますか？ (A-2-3)	思う、やや思う やや思わない、 思わない	89 11	84 15	91 8
	4. 遺産 (1) 建 学の精神 (2) 文化と校風 (3) 資料と文化 財	本校の建学の精神、スクールモットー、教育方 針などは生徒・保護者に理解されていると思 いますか？ (A-4-1)	思う、やや思う やや思わない、 思わない	86 13	84 16	91 8
			本校の礼拝、その他のキリスト教プログラムは 生徒の精神性や生き方を深めていると思いま すか？ (A-4-1)	思う、やや思う やや思わない、 思わない	82 17	84 15

項目	要素	質問	回答	中学生	高校生	保護者
B 組織内要因-1生徒支援	1. カリキュラム(1)教科教育(2)行事(3)課外活動	本校の教科カリキュラムは生徒の学力と学習意欲を向上させていると思いますか？(B-1-1)	思う、やや思う やや思わない、思わない	88 11	80 19	82 17
		本校の学習支援(補習、OJAS、ビッグシスター、夏期講座、スタディサプリなど)は生徒の自主的な学習をサポートしていると思いますか？(B-1-1)	思う、やや思う	82	72	72
		本校の学習支援(補習、ビッグシスター、夏期講座、スタディサプリなど)は生徒の自主的な学習をサポートしていると思いますか？(B-1-1)	やや思わない、思わない	17	17	27
		今年度行った行事(遠足、文化祭、体育会など)は自主的な運営や課題解決のための力を身につけるのに役立ちましたか？(B-1-2)	思う、やや思う やや思わない、思わない	95 4	88 11	
		授業、課題探求、文化祭、クラブ活動などで情報収集するのに学校ICT(Wi-Fi設備、Chromebookレンタル、メールやGoogleの運用、ICT支援員、学習のWebサイトの運用、その他サポート)は役立ちましたか？(B-1-3)	思う、やや思う やや思わない、思わない	93 6	87 12	79 20
		授業、課題探求、文化祭、クラブ活動などで図書館を利用した情報収集をする機会がありましたか？(B-1-3)	思う、やや思う やや思わない、思わない	84 15	52 47	
	2. 国際理解教育(1)言語教育(2)国際教育(3)海外進路	本校の言語教育(英語授業、英語プログラム、J国際特別授業、韓国語講座など)は生徒の言語能力向上に役立ちましたか？(B-2-1)	思う、やや思う やや思わない、思わない	86 13	76 23	78 21
		本校の国際理解教育(海外留学・研修プログラム、学内留学・研修プログラム、S英語科セミナー・エンパワーメントプログラム・キャンプ、解放教育の国際的なトピック学習、海外の子ども支援の取り組みなど)は生徒の国際社会理解に役立ちましたか？(B-2-2)	思う、やや思う やや思わない、思わない	80 19	70 29	
		本校の海外進路サポートは、生徒の進路選択に役立ちましたか？(B-2-3)	思う、やや思う やや思わない、思わない	74 25	56 43	59 40
	3. 人権教育(1)女子教育(2)人権学習(3)平和学習	本校の解放(人権)教育は、生徒の人権や社会問題の意識向上に役立っていると思いますか？(B-3-1)	思う、やや思う やや思わない、思わない	93 6	92 7	91 8
		本校の解放(人権)教育は、生徒の多様な性の理解を深めましたか？(B-3-1)	思う、やや思う やや思わない、思わない	93 6	95 15	
		本校の学校生活や解放(人権)教育は、様々な違い(国籍、文化、習慣、宗教、考え方など)をもつ人々への、生徒の理解を深めましたか？(B-3-2)	思う、やや思う やや思わない、思わない	93 6	93 6	
本校の解放(人権)教育は、生徒の戦争・紛争・平和な世界の構築に対する意識を高めましたか？(B-3-3)		思う、やや思う やや思わない、思わない	94 5	92 7		

項目	要素	質問	回答	中学生	高校生	保護者
B 組織内要因-1生徒支援	4. 自立支援 (1) 支援教育 (2) 生活指導 (3) 進路指導	生徒に学校生活で困ったこと（いじめ、ハラスメント、人間関係、成績不振、不登校など）があった場合、本校のサポート（面談、支援、指導など）は十分だと思いますか？ (B-4-1)	思う、やや思う やや思わない、思わない	82 7	75 24	81 18
		本校における基本的な生活指導のルールを守れましたか？（生徒）／生徒が卒業後の社会生活を送るうえで適切だと思いますか？(保護者、教職員) (B-4-2)	思う、やや思う やや思わない、思わない	94 5	95 4	90 10
		学内の教職員、学外の来校者、および生徒間で、あいさつなど基本的なコミュニケーションを実行できましたか？ (B-4-2)	思う、やや思う やや思わない、思わない	93 6	91 8	
		本校の進路指導は、将来の進路選択に関わる必要な情報とサポートを生徒に提供していると思いますか？ (B-4-3)	思う、やや思う やや思わない、思わない	90 9	86 13	86 13
		本校の進路指導は、将来の進路選択、特に多様な入試制度（協定校・指定校推薦、A0・総合選抜入試）に対応していると思いますか？ (B-4-3)	思う、やや思う やや思わない、思わない	92 7	86 13	87 12
		本校の進路指導は、あなたの学習に関するモチベーションの向上や学習方法の見直しに役立ちましたか？ (B-4-3)	思う、やや思う やや思わない、思わない	90 9	80 19	

項目	要素	質問	回答	中学生	高校生	保護者
C 組織内要因-2スタッフ支援	1. 労働環境 (1) 待遇 (2) 健康管理 (3) 福利厚生	本校のクラブ活動・生徒会活動・委員会活動では、顧問やコーチから必要なサポートがありますか？ (C-1-1)	思う、やや思う	79	76	
			やや思わない、思わない	20	23	
	3. チーム形成 (1) 有機的なチーム (2) Servant Leader (3) 外部資源の活用	生徒・保護者が必要な時すぐに、教職員と相談・面会・面談ができたか？ (C-3-1)	思う、やや思う	81	83	88
			やや思わない、思わない	18	16	11
		教員が研修日・欠勤・出張などで不在の場合でも、担任や担任以外でクラスや教科担当生徒への必要な連絡、サポートができたと思いますか？ (C-3-2)	思う、やや思う	81	84	89
			やや思わない、思わない	18	15	10

項目	要素	質問	回答	中学生	高校生	保護者
D 組織外への働き	1. 広報(1) 受験生向け(2) 塾向け(3) メディア向け	入学前に学校についての情報が十分に提供されていると思いますか？(説明会、個別相談会、地域での説明会、HP、SNSなど) (D-1-1)	思う、やや思う			89
			やや思わない、思わない			10
	2. 保護者支援 (1) PTA活動 (2) 就学支援 (3) 保護者支援	へール会(PTA)活動、クラスの懇親会など、保護者間・保護者と教員間の交流や理解を深める活動がなされていると思いますか？(D-2-1)	思う、やや思う			88
			やや思わない、思わない			11
			思う、やや思う			87
		学内の奨学金制度(へール会、グループ・ライダー・シオン)は保護者に十分に告知されていると思いますか？(D-2-2)	やや思わない、思わない			12
			思う、やや思う			88
			やや思わない、思わない			11
	3. 同窓会(1) ネットワーク (2) 共同事業 (3) 生徒支援	本校のノベルティ、オリジナルグッズや学用品は充実していると思いますか？(D-3-2)	思う、やや思う			93
			やや思わない、思わない			6
			思う、やや思う			96
	4. 社会貢献 (1) 地域貢献 (2) 施設支援 (3) 国際貢献	本校の制服等のオプション品(ベスト、サマーセーター、パンツ、カバン類)は充実していると思いますか？(D-3-2)	やや思わない、思わない			3
思う、やや思う					91	
やや思わない、思わない					8	
	学外の奨学金・就学支援金制度の案内、生徒・保護者支援のための支援制度や施設などの紹介は十分になされていると思いますか？(D-2-3)	思う、やや思う			88	
		やや思わない、思わない			11	

項目	要素	質問	回答	中学生	高校生	保護者
E 総評	帰属意識／リピート率、自己評価	大阪女学院が好きですか？あるいは大阪女学院性であることに誇りを持っていますか？（生徒）／知人・友人の子弟や親戚または家族に、大阪女学院の受験をお薦めできますか？（保護者、教職員）	思う、やや思う	92	90	94
			やや思わない、思わない	7	9	5